

政治学科

2012

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
113	政治学演習 (土屋礼子)	通年	3年以上：4単位	土屋 礼子 政政・経演・国演

副題
Subtitle

近代史におけるメディアとプロパガンダ、およびジャーナリズム

授業概要
Course Description

近代日本および欧米におけるメディアの発達の経緯を理解し、検閲制度をはじめとする政府との関係、政治家とジャーナリズムの関係、世論を動かすためのプロパガンダという思想がどのように展開してきたかを、実証的に学び議論する。また、実際にメディアやジャーナリズムに関係した人々にインタビュー調査や資料探索を行ない、メディアの歴史や、メディアに対するアプローチのしかた、メディアの分析のしかたに関する知見を深め、年度末には各自が卒論テーマを見いだせるよう研究をすすめる。

授業の
到達目標
Objectives

メディアとジャーナリズムに関する基本的知識を学ぶだけでなく、それを活用し、自分で資料を探索し読み解き、思考する能力を養う。また実際にインタビュー調査を行う力量を育成する。

授業計画
Course Schedule

第1回：全体的な導入
第2回：基本文献（日本語）の輪読（1）
第3回：基本文献の輪読（2）
第4回：基本文献の輪読（3）
第5回：基本文献の輪読（4）
第6回：基本文献の輪読（5）
第7回：基本文献の輪読（6）
第8回：中間のまとめと議論
第9回：基本文献（英語）の輪読（1）
第10回：基本文献の輪読（2）
第11回：基本文献の輪読（3）
第12回：基本文献の輪読（4）
第13回：基本文献の輪読（5）
第14回：基本文献の輪読（6）
第15回：前半のまとめと議論
第16回：各メディア及び人物の研究に関する導入
第17回：各メディア研究報告（1）
第18回：各メディア研究報告（2）
第19回：各メディア研究報告（3）
第20回：各メディア研究報告（4）
第21回：各メディア研究報告（5）
第22回：各メディア研究報告（6）
第23回：中間のまとめと議論
第24回：人物研究報告（1）
第25回：人物研究報告（2）
第26回：人物研究報告（3）
第27回：人物研究報告（4）
第28回：人物研究報告（5）
第29回：人物研究報告（6）
第30回：後半のまとめと議論

教科書
Textbook(s)

最初に、ユルゲン・ハーバーマス『公共性の構造転換』（未来社、第二版）を読む。以降は授業中に指示する。

参考文献
Reference Book(s)

参考書：土屋礼子共訳『米国のメディアと戦時検閲』（法政大学出版社）

『近代日本メディア人物誌』（ミネルヴァ書房）など。
他は随時紹介する。

評価方法 Evaluation	割合(%) Percent(%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	50 %	
平常点評価 Class Participation	50 %	
その他 Other	%	

備考
Note

メディア史に関心のある方で、積極的に議論する方を望みます。

関連URL
URLs for References